

**注意事項**

募集する奨学生は、下記出願条件と、人物・学業ともに優れかつ健康であって経済的理由により修学が困難とみとめられる者が対象となります。なお、特に記載がない場合は、日本人学生対象です。

各奨学会の希望者の中から、家計収入や成績により内部選考を行い推薦者を決定します。

下記の奨学会を希望する者は、「公益法人奨学会願書（内部選考用）」（父母及び本人（本人に所得がある場合）の所得関係証明書と成績証明書を添付）と「希望奨学会申込票」を締切日までに本部奨学厚生グループ奨学チームに提出してください。

出願に必要な書類は充分にご確認の上提出してください。

一度提出した書類は返却できませんのでご承知ください。

**内部選考を行う公益法人奨学会募集について(第1回)**

**申込締切日: 4月6日 (火)**

**願書配布及び申込受付: 本部奨学厚生グループ奨学チーム**

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	奨学金月額	推薦人数
日本証券奨学財団	<p>大学院:学資の援助を必要とし、学業優秀で、心身ともに健康で活動的であり、明朗かつ積極性がある法学政治学研究科、経済学研究科、公共政策学教育部の修士(専門職学位)1年、または博士1年(学年は平成22年4月1日現在)</p> <p>・真に学費の援助が必要な者(家計収入が給与世帯で年1,000万円以下、給与世帯以外で年500万以下とする。本人が一定の職業に従事し生計を維持するに足る収入を得ていないこと。)</p> <p>・修士課程の者は25歳以下であり、博士課程の者は28歳以下であること</p> <p>・財団の各種行事に出席できる者</p> <p>候補者の選考に際し、財団が面接を行います。</p> <p>給与期間: 正規の最短修業年限まで</p>	不可(ただし日本学生支援機構は可)	<p>給与</p> <p>修士、専門職学位 自宅40,000 自宅外35,000</p> <p>博士 自宅55,000 自宅外45,000</p>	1

平成22年3月23日本部奨学厚生グループ奨学チーム